

簡易設置形エアーシャワー

JS-10型

取扱説明書

- 安全に使用していただくために、機器を取扱う前によく読み、十分理解したうえで使用してください。
- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの代理店または当社にお問い合わせください。

●アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合は「大気汚染防止法」に基づき作業を行ってください。
また、「労働安全衛生法」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」においても作業基準等が定められています。

目次

1. はじめに	2
(1) 安全に関するご注意	2
(2) 特に注意していただきたいこと	3
2. 簡易設置形エアーシャワーとは	5
(1) 各部の名称	5
(2) 制御部について	6
3. 設置説明	7
(1) 設置の前に	7
■受領時の確認	7
■運搬について	7
■設置について	8
(2) 操作について	9
■電源入力について	9
■動作について	9
■タイマー設定時間の変更について	10
4. メンテナンス	11
(1) プレフィルタの交換	11
(2) メイン (H E P A) フィルタの交換	12
5. おかしいな?と思ったら	14
6. 保証	15
(1) 保証と修理サービス	15

1. はじめに

(1) 安全に関するご注意

この据付・取扱説明書には工事や操作をする方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、正しく安全に操作いただくための重要な情報を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示マークの説明】

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容。
 注意	障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される内容。

《アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合》

- アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合は「大気汚染防止法」に基づき作業を行ってください。
また、「労働安全衛生法」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」においても作業基準等が定められています。
- 使用済みフィルタの廃棄は、特別管理産業廃棄物処理業者に委託してください。

(2)特に注意していただきたいこと

安全に関する重要な内容です。良くお読みのうえ、必ずお守りください。

 警告

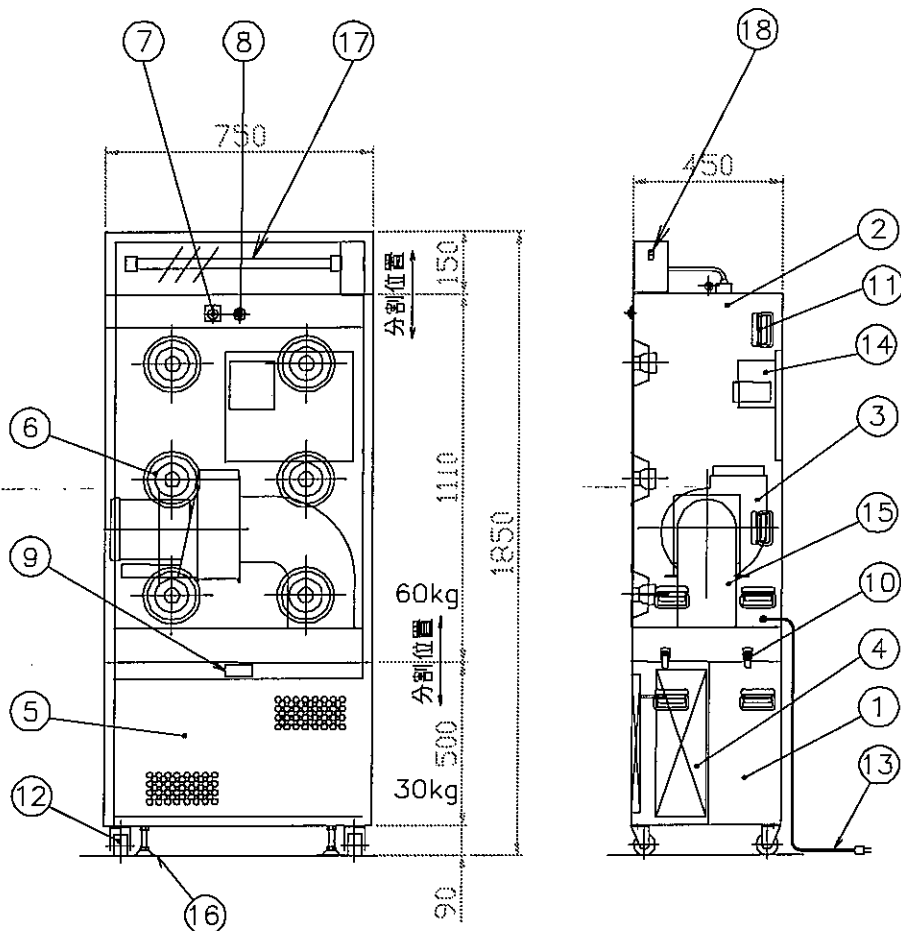
据 付 け	■機器の銘板に表示した定格電圧以外では使用しないでください。 モーターが焼損し火災や感電の原因になります。 ■電気工事は、専門業者または電気工事資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。 電気回路容量不足や電気工事に不備があると、漏電や火災の原因になります。 ■配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続してください。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。 ■アース線は必ずアース専用線と接続してください。アースは第3種設置工事をしてください。アース線を、ガス管、水道管、避雷針、電話のアースと接続しますと、感電の原因になることがあります。 ■設置場所によっては漏電ブレーカーを取付けてください。 漏電ブレーカーが取付けられていないと、感電の原因になることがあります。 (取付ける場合には、代理店または当社にご相談ください。) ■ファンの回転方向を確認する時は、ファンは高速で回転していますので、指や棒を入れないでください。ケガおよび機器の破損の原因になります。 ■設置は平坦な場所で行います。キャスター（4箇所）はストッパーで止めてから、背面側のアジャスター（2箇所）をナットで調整し固定してください。ケガおよび機器の破損の原因になります。
取 扱 い	■引火性、爆発性、腐食性物質の霧・煙（ヒューム）・ガスが滞留しているところや、これらの付近で使用しないでください。引火、爆発の原因になります。 ■異音、異臭がする場合は、ただちに運転を停止し、代理店または当社に連絡してください。 そのまま運転すると、火災、感電、故障の原因になります。 ■電源コードに重いものを載せたり、引っぱったり、無理にまげたりしないでください。 電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。 ■この機器を改造しないでください。 事故、火災、感電のおそれがあります。 ■濡れた手で電源コードを接続したり、取外したりしないでください。 感電の原因になります。 ■点検メンテナンスをするときは、必ず電源コードを抜いてください。 感電の原因になることがあります。

 注意	
据 付 け	■ クレーン、フォークリフトおよび玉掛け作業は、それぞれの有資格者が行ってください。 ■ 機器は直ちに屋内に運んでください。雨水、ホコリによる故障の原因となることがあります。 ■ 機器を立ててフォークリフト、台車等で運ぶ場合は、転倒しないように固定して移動してください。 ■ 酸・アルカリ・有機溶剤・塗料等の腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。火災や故障の原因になることがあります。 ■ 使用環境は、下記の設定条件内で使用してください。 温度：－10℃～40℃、湿度：90%RH以下 ただし結露や氷結のないこと。 設定条件外で使用するると漏電や故障の原因になることがあります。
取 扱 い	■ 可熱性スプレーを機器の近くで使用しないでください。火災の原因になることがあります。 ■ フィルタの装着、脱着(交換)、廃棄作業に際しては、じん埃から身体を保護するために、マスク、眼鏡、手袋を必ず着用してください。 ■ アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合は、「大気汚染防止法」に基づき作業を行ってください。 ■ メインフィルタを取扱う際には枠の部分を持ち、決してフィルタ表面は触らないでください。フィルタ表面は痛み易く、破損した場合リークの原因になります。 ■ メインフィルタの固定締付けは、パッキンを2～3mm押しつぶす程度に締付けてください。固定金具を締めすぎると、リークの原因になります。

2. 簡易設置形エアシャワーとは

簡易設置形エアシャワーは、工事現場等に容易に設置ができるようにフィルタユニットと吹出ユニットの2分割になっています。ジェット吹出口より20m/s以上の清浄空気を噴出させ、衣類などに付着した粉じんを払い落とします。

(1) 各部の名称

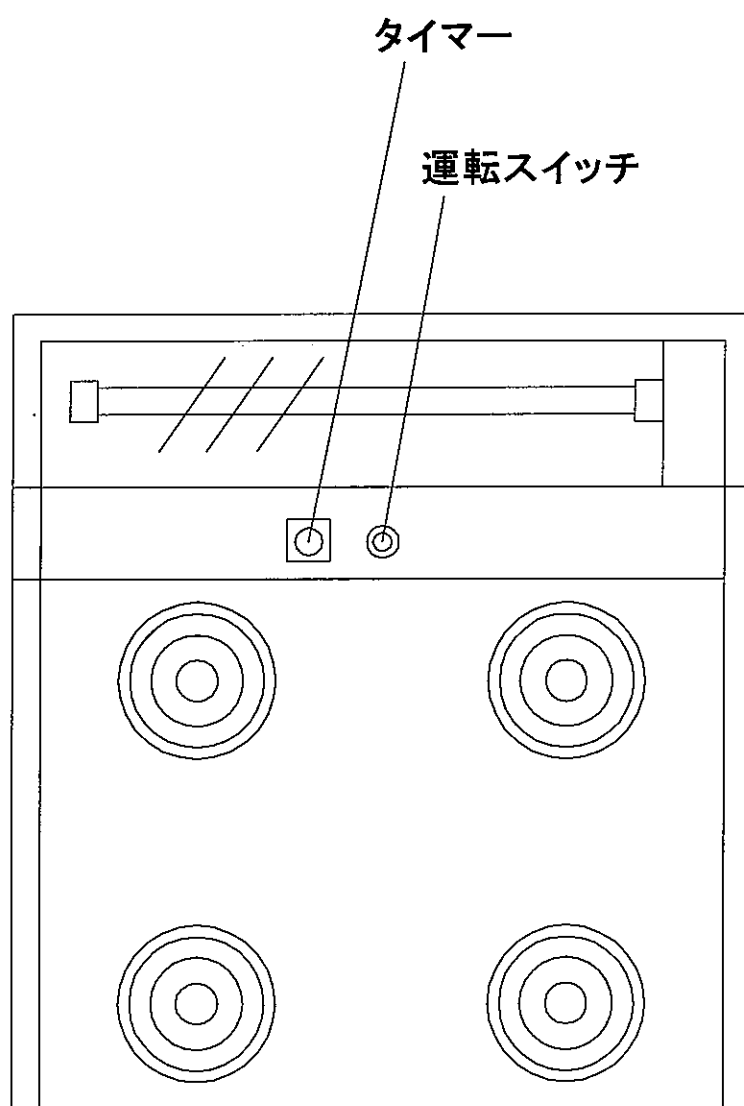


仕 様 表	
機種名	JS-10
ジェット風量	7.7m ³ /min.
ジェット風速	20m/s 以上.
ジェットノズル数	6個(φ37)
プレフィルタ	738X410X20 1枚
H13PAフィルタ	610X305X70 1組
捕集効率	0.3μmDOPテスト液にて99.97%以上
操 作	エアジェット(ON-タイマ-スイッチ)
電 源	単相100V50/60Hz
消費電力	600 / 650 W
塗 装 色	マンセル 2.5Y 9/1 Y22-90B
重 量	約 90 Kg

18	蛍光灯スイッチ	
17	蛍光灯	20W
16	アジャスター	後面のみ
15	フレキシブルダクト	
14	電装部品ボックス	
13	電源コード	5.0m 7-18
12	キャスター	
11	トランク取手	
10	パッチン錠	
9	差圧計	
8	運転スイッチ	
7	タイマ	設定60秒
6	ジェットエア吹出口	アルミ
5	プレフィルタ	パッチン錠付
4	H13PAフィルタ	
3	ジェットエアファン	プロテクト付
2	吹出ユニット	
1	フィルタユニット	
品番	部 品 名	材 質 備 考

(2) 制御部について

○制御部は吹出ユニットの内部にあります。



3. 設置説明

(1) 設置の前に

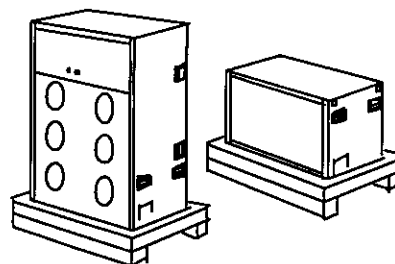
■受領時の確認

●型式確認

納入仕様図と銘板に印字されている型式を確認してください。

●破損箇所確認

機器が破損していないか確認してください。



■運搬について



注意

■クレーン、フォークリフト作業は、有資格者が行ってください。

○衝撃、振動は避けてください。電気部品が損傷する原因となります。

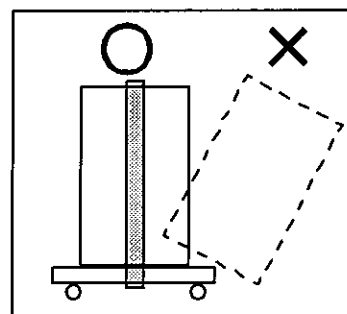
1)トラックより降ろしたら、梱包したままフォークリフト、台車等で設置場所へ運びます。



注意

■機器は直ちに屋内に運んでください。雨水、ホコリによる故障の原因となります。

■機器を立ててフォークリフト、台車等で運ぶ場合は、転倒しないように固定して移動してください。



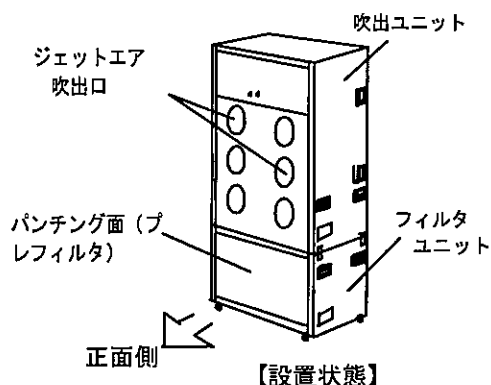
■ 設置について



警告

■設置は平坦な場所で行います。キャスター（4箇所）はストッパーで止めてから、背面側のアジャスター（2箇所）をナットで調整し固定してください。ケガおよび機器の破損の原因になります。

○簡易設置形エアシャワーはフィルタユニットと吹出ユニットの2分割になっています。設置は、2人以上で作業を行ってください。
○ジェットエア吹出口側とパンチング面側が、正面になるように設置してください。

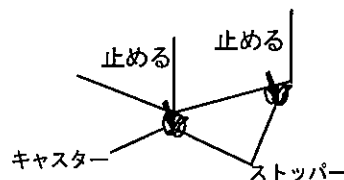


●開梱

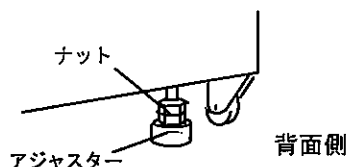
1) 専用パレットにフィルタユニットと吹出ユニットが乗っていますので、設置する場所まで、台車・フォークリフト等で移動してから開梱します。

●設置

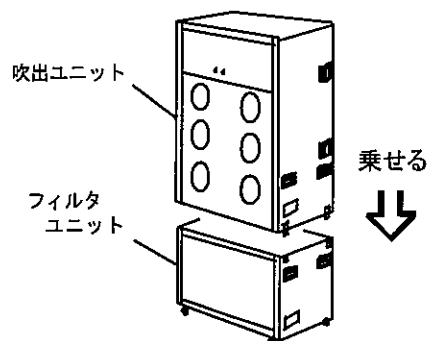
1) フィルタユニットはキャスター（4箇所）が付いていますので移動後、キャスターのストッパーを止めます。



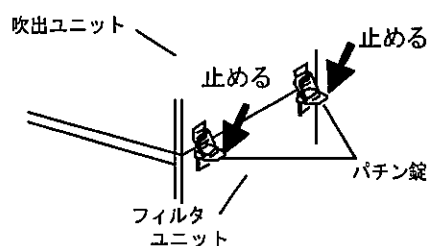
2) 設置用アジャスター（2箇所）がフィルタユニットの背面側に付いていますので、ナットを調整してフィルタユニットを床に設置します。



3) 吹出ユニットを2人で持ち、フィルタユニットの上に乗せます。



4) パチン錠（4箇所）で、吹出ユニットをフィルタユニットに止めます。

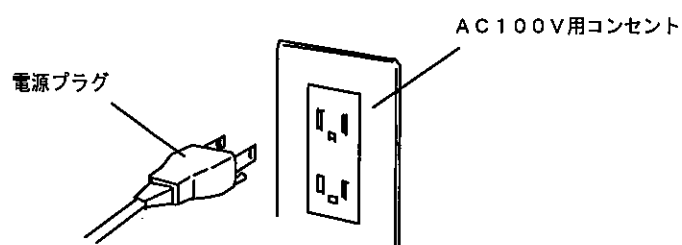


(2) 操作について

■ 電源入力について

○工場出荷時のブレーカーはONに設定してあります。

- 1) AC100V用コンセントに電源プラグを入れます。



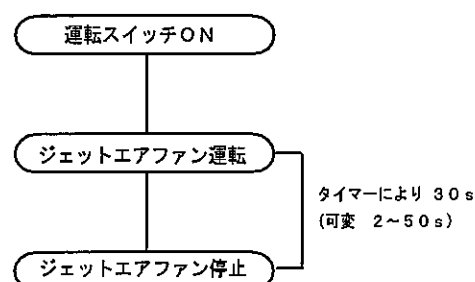
■ 動作について

《アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合》

- アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合は「大気汚染防止法」に基づき作業を行ってください。
- また、「労働安全衛生法」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」においても作業基準等が定められています。

【作業場(室)から前室側へ退室】

- 1) 簡易設置形エアシャワーの前に立ち、運転スイッチを押します。
- 2) 手で衣類を叩きながら身体を回転させ、ジェットエアを身体にまんべんなく当てます。
- 4) ジェットエアがタイマーにより止まります。
- 5) 前室側へ退室してください。



【動作フローチャート】

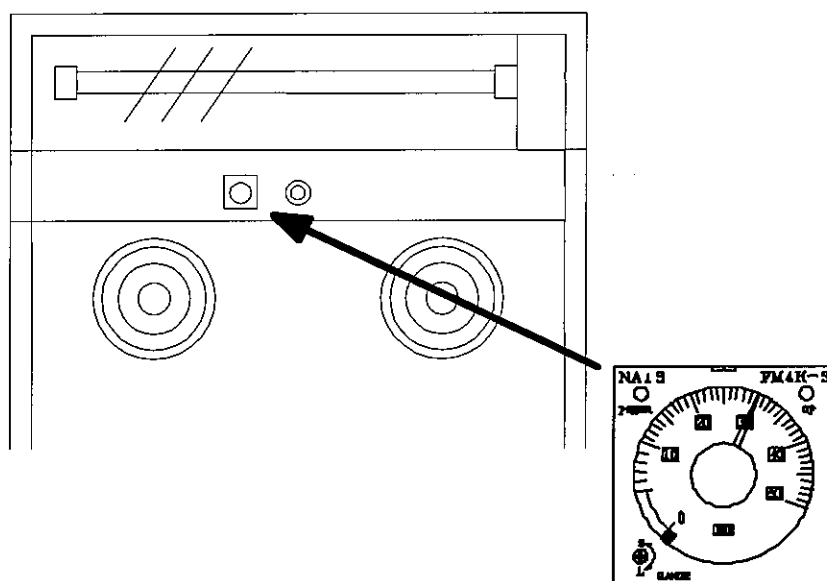
■タイマー設定時間の変更について



警告

■点検メンテナンスをするときは、必ず本機器のコンセントを抜いてください。
感電のおそれがあります。

○ジェットエア吹出し時間は、工場出荷時に20秒に設定してあります。
(設定時間は出荷時のレンジで2～30秒まで、タイマーにより変更可能です。)
レンジを変更することにより、長い時間の設定が可能です。



4. メンテナンス

 警告	■点検メンテナンスをするときは、必ず本機器のコンセントを抜いてください。 感電のおそれがあります。
 注意	■フィルタの装着、脱着(交換)廃棄作業に際しては、じん埃から身体を保護するために、マスク、眼鏡、手袋を必ず着用してください。

○交換用フィルタは、必ず当社製品を使用してください。

(1) プレフィルタの交換

《アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合》

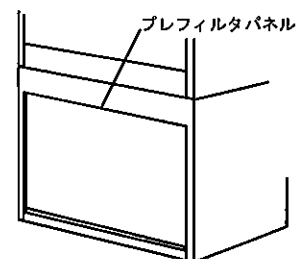
- メンテナンス作業は、国及び都道府県の行政指導要綱に基づき行ってください。
- 使用済みフィルタの廃棄は、特別管理産業廃棄物処理業者に委託してください。

交換時期(目安)	清掃時期: 1回/6ヶ月
----------	--------------

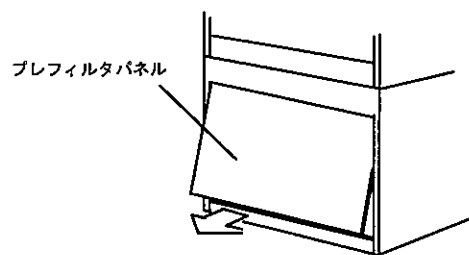
○周囲のじん埃状況によって、交換時期は変わります。

●プレフィルタの取外し

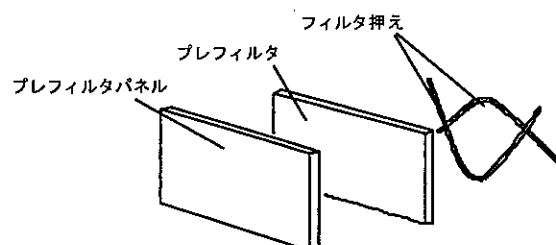
- 1) プレフィルタパネルに付いている取外し用ツマミを持ち上に上げます。



- 2) プレフィルタパネルを下側を斜め手前に引き、取外します。



- 3) フィルタ押えを外して、プレフィルタを取出します。



●プレフィルタ取付け方法

- 1) プレフィルタパネルにプレフィルタ、プレフィルタ押えを取付けてください。
- 2) 取外した時を参考に、元のように取付けてください。

(2) メイン(HEPA)フィルタの交換

《アスベスト等の特定粗じんを使用している建物を解体する場合》

- メンテナンス作業は、国及び都道府県の行政指導要綱に基づき行ってください。
- 使用済みフィルタの廃棄は、特別管理産業廃棄物処理業者に委託してください。

○メイン(HEPA)フィルタは洗浄などによる再生使用はできません。性能が低下した場合は必ず新品と交換してください。

メインフィルタは、じん埃の蓄積と共に空気が通過しにくくなり、風速、風量が減少して機器の性能が低下します。性能を維持するために、交換を行います。

■標準仕様の
場合

定期に風量測定を行ってください。
風速が18m/s以下になりましたら、メインフィルタを交換してください。

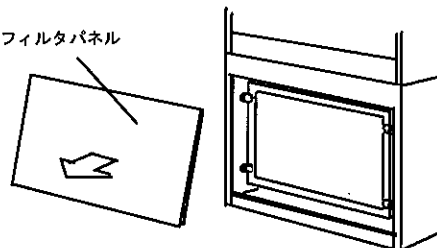
●メインフィルタの取外し



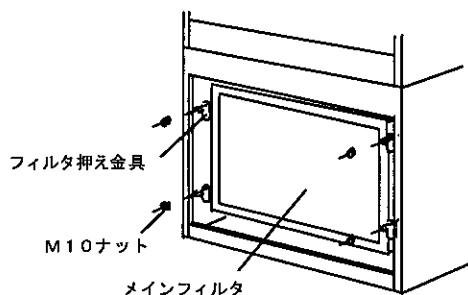
■メインフィルタを取扱う際には枠の部分を持ち、決してフィルタ表面は触らないでください。フィルタ表面は痛み易く、破損した場合リークの原因になります。

- 1) 新品の当社指定のメイン(HEPA)フィルタを準備してください。
- 2) プレフィルタパネルを、(1) プレフィルタの交換 ●プレフィルタの取外し (P11) のように取り外します。

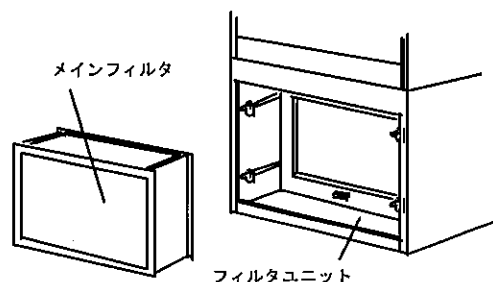
プレフィルタパネル



- 3) スタッドボルト(4箇所)に付いているM10ナットを緩めて、フィルタ押え金具をメインフィルタから外します。



- 4) メインフィルタをフィルタユニットから取り出します。



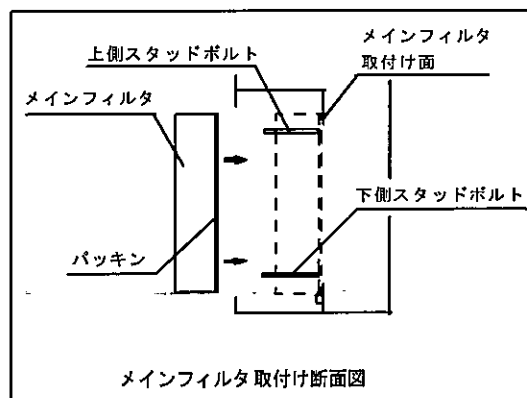
●メインフィルタの取付け



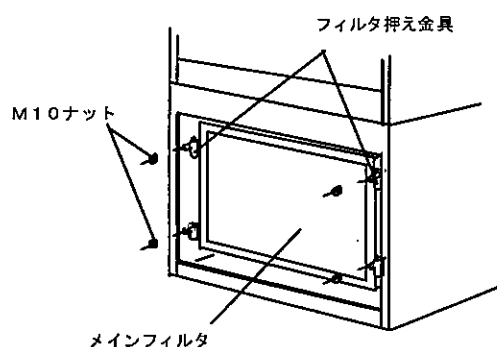
■メインフィルタの固定締付けは、パッキンを2～3mm押しつぶす程度に締付けてください。固定金具を締めすぎると、リークの原因になります。

○フィルタ表面を上下のスタッドボルトに当たらないように、注意してください。

- 1) 機器のメインフィルタ取付け面のゴミ・汚れを取り、表面を滑らかにしてください。
- 2) 新品のメインフィルタのパッキン側を、メインフィルタ取付け面に向けてください。
- 3) メインフィルタをセットしてください。



- 4) メインフィルタをセットした後、フィルタ押え金具を回してメインフィルタの枠に引っ掛けてください。
- 5) M10ナットをボックスレンチ等でパッキンを2～3mm押しつぶす程度に締付けてください。



- 6) 取り付けが完了しましたら、(1)プレフィルタの交換
 - プレフィルタの取外し (P11) の逆でパネルを元に戻してください。

5. おかしいな?と思ったら



■点検メンテナンスをするときは、必ず機器のコンセントを抜いてください。
感電の原因になることがあります。

○次のような異常が発生しましたら直ちに対策を行ってください。
ただし、◎印の修理については必ず専門業者に依頼してください。
○対策を行っても復旧しない場合は代理店または当社にご連絡ください。

異常早見表

現 象	原 因	対 策
所定の風速(量)が出ない。	・プレフィルタの目詰まり。	→ ・プレフィルタを清掃する。
	・メイン(HEPA)フィルタの目詰まり。	→ ・メイン(HEPA)フィルタを交換する。
	◎ファンが逆回転している。 (3相モータの場合)	→ ◎電源端子台に接続されている一次電源の R相とT相を入れ替える。
ジェットエアが動作しない。	・一次電源が接続されていない。	→ ・一次電源を接続する。
	・ブレーカーがOFFになっている。	→ ・ブレーカーをONにする。
	◎制御盤の電磁接触器部の端子接続不良。	→ ◎制御盤の電磁接触器の各端子が完全に接続 されているか確認する。
	◎制御盤の電磁接触器の接点不良。	→ ◎電磁接触器の交換。
	◎ファンモータのサーマルリレーが トリップしている。	→ ◎自動復帰型のため、時間をおく。 再度トリップする場合は、代理店または当 社までご連絡ください。

6. 保証

(1) 保証と修理サービス

- 機器の保証期間は、保証書に記載した納入年月日より1年間です。
- 納入後1年間に生じた当社責任による故障は、無償にて修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合の修理は、有償とさせていただきます。
 - ・取扱方法の不适当により生じた故障
 - ・天災によって生じた故障
 - ・故障原因が本機器以外の機械にある場合
 - ・代理店または当社サービスマン以外により修理改造された部位の故障
 - ・出張サービスを行った場合の旅費
 - ・当社使用品以外の部品または消耗品が原因の場合
 - ・保証書の提示のない場合
- 保証期間経過後の修理につきましては有償とさせていただきます。
- フィルタの交換は、当社製を必ずご使用ください。
交換用フィルタのご用命は、代理店または当社までご連絡願います。